

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.2.28 時点)

分類		保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量		前回集約からの増減※1 (2020.1.31 - 2020.2.28)	変動※2 理由	エリア 占有率	保管量※3／保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	屋外集積	0.21	500	m ³	微減	m ³ ⑥	0 %	208400 / 266500 (78%)	・フランジタンク解体片 2020年2月末時点でコンテナ1,001基保管。 エリアP1 コンテナ数：622基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：379基 (2018年3月15日～) ・エリアAの運用変更により、保管容量(13,800m ³)増加。 (2020年1月) ・エリアAは1～30mSv/hの瓦礫類を仮設集積中。これら瓦礫類を固体庫に移動後、低線量率瓦礫類一時保管エリアとして使用予定。
		B	屋外集積	0.01	5,300	m ³	0	m ³ —	100 %		
		C	屋外集積	0.01未満	63,200	m ³	-100	m ³ ①②⑦	100 %		
		F 2	屋外集積	0.01未満	6,400	m ³	0	m ³ —	85 %		
		J	屋外集積	0.01	6,200	m ³	0	m ³ —	78 %		
		N	屋外集積	0.01未満	9,600	m ³	0	m ³ —	96 %		
		O	屋外集積	0.01未満	43,900	m ³	+300	m ³ ③④	85 %		
		P 1	屋外集積	0.01未満	54,200	m ³	+1,500	m ³ ①②③	85 %		
		U	屋外集積	0.01未満	700	m ³	0	m ³ —	100 %		
	V	屋外集積	0.01	5,900	m ³	0	m ³ —	98 %			
	AA	屋外集積	0.01未満	12,500	m ³	+400	m ³ ⑤	34 %			
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600	m ³	0	m ³ —	58 %	42500 / 71000 (60%)	・エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)
		E 1	シート養生	0.02	14,200	m ³	0	m ³ —	89 %		
		P 2	シート養生	0.01	5,800	m ³	0	m ³ —	64 %		
		W	シート養生	0.03	12,000	m ³	+300	m ³ ②	41 %		
	X	シート養生	0.01	7,900	m ³	0	m ³ —	65 %			
	覆土式一時保管施設、 容器(1～ 30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000	m ³	0	m ³ —	100 %	17900 / 24600 (73%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量(4,000m ³)増加。 (2018年5月) ・エリアAの運用変更により、保管容量(7,100m ³)減。 (2020年1月)
		E 2	容器※4	0.01未満	1,200	m ³	+300	m ³ ①②④	68 %		
		F 1	容器	0.01未満	600	m ³	0	m ³ —	99 %		
	Q	容器	0.04	0	m ³	0	m ³ —	0 %			
	固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物 貯蔵庫	容器※4	0.01	21,100	m ³	+500	m ³ ②⑥	46%	21100 / 45600 (46%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m ³)増加。 (2018年2月)
合計(ガレキ)					289,800	m ³	+3,100	m ³ —	71 %		
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300	m ³	0	m ³ —	63 %	96900 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700	m ³	0	m ³ —	74 %		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600	m ³	0	m ³ —	88 %		
		V	屋外集積	0.01	300	m ³	+100	m ³ ⑧	6 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200	m ³	0	m ³ —	88 %	37300 / 41600 (90%)	
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100	m ³	0	m ³ —	94 %				
合計(伐採木)					134,200	m ³	+100	m ³ —	76 %		
保護衣	屋外集積	容器	0.03	48,200	m ³	+1,000	m ³ ⑨	71 %	48200 / 68300 (71%)	・使用済保護衣等焼却量 6992t (2020年2月末累積) ・焼却灰(プラスト材含む)のドラム缶数 1750本 (2020年2月末累積)	
合計(使用済保護衣等)					48,200	m ³	+1,000	m ³ —	71 %		

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

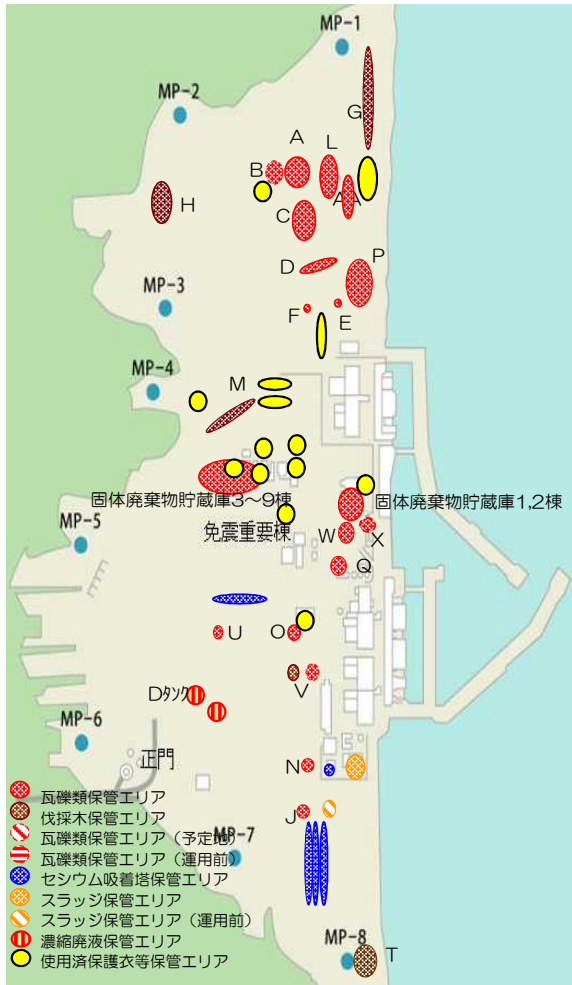
※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②1～4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③構内一般廃棄物 ④敷地造成関連工事 ⑤フランジタンク除染作業
⑥エリア整理のための移動(A→固体庫) ⑦砕石取り出し ⑧伐採木受入 ⑨使用済保護衣等受入

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

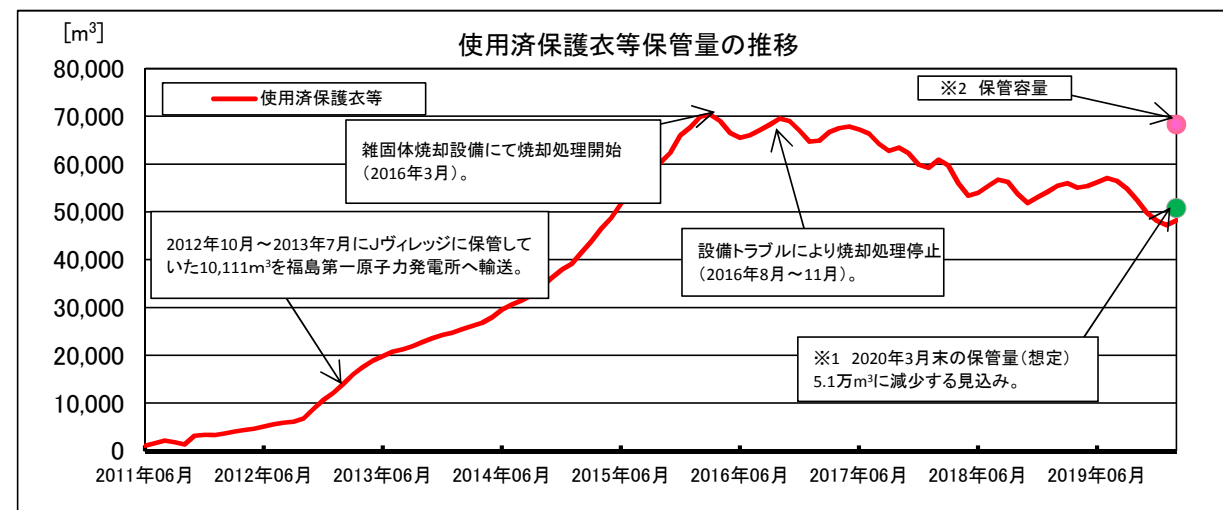
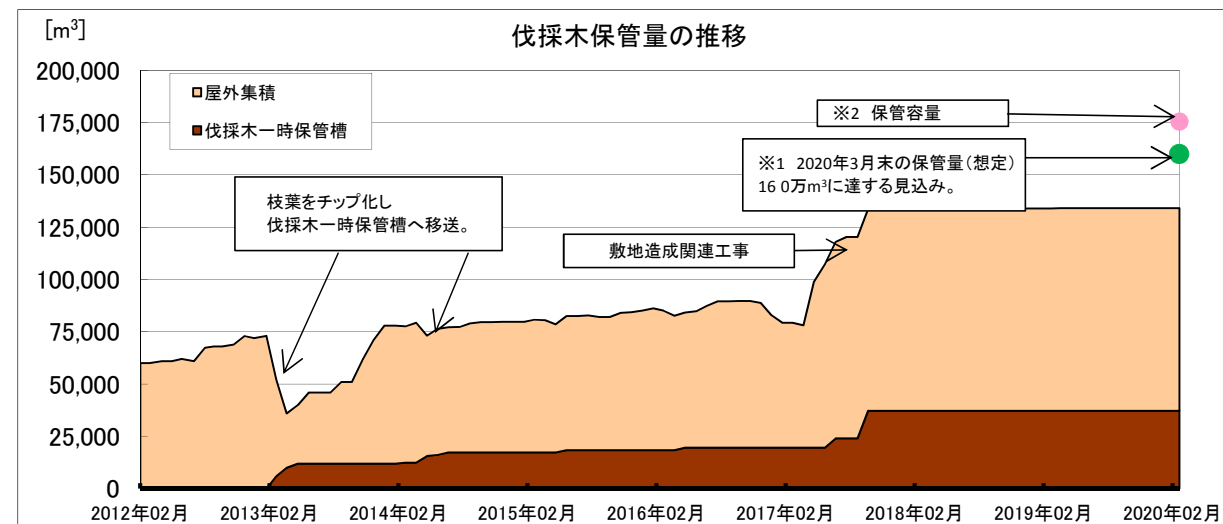
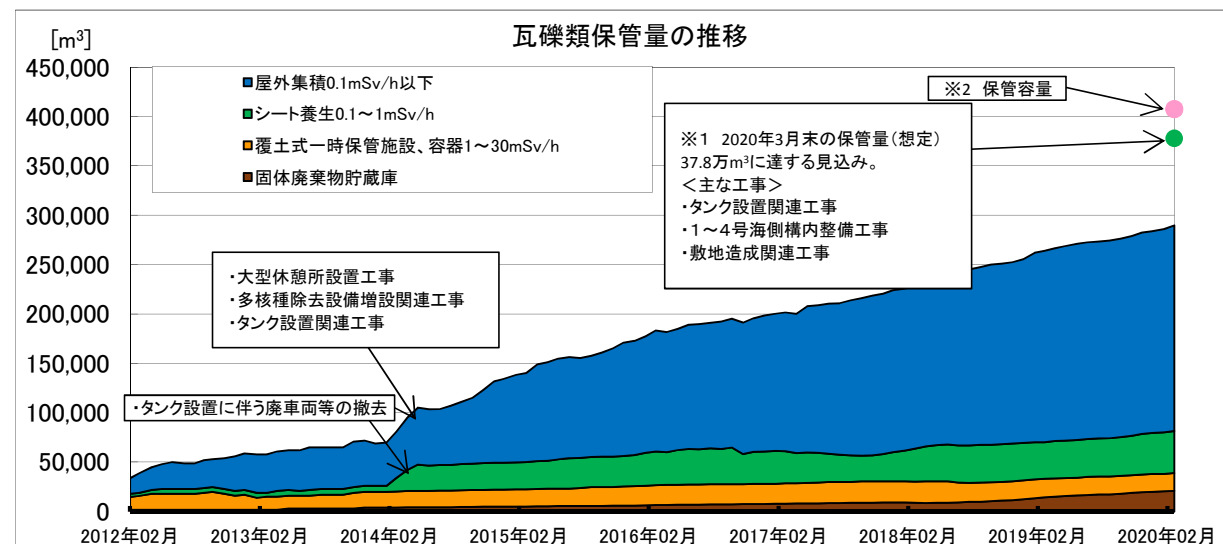
※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2020.3.5時点)

分類	保管場所	種類		保管量		前回集約からの増減 (2020.2.6 - 2020.3.5)		保管量／保管容量 (割合)		トピックス
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル		779	本	0	本	4686 / 6372 (74%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可（2015年12月14日） ・使用前検査完了（2017年5月26日）に伴う保管容量増（第四施設架台129塔分）	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル		228	本	+2	本			
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル		1	本	+1	本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,719	基	+8	基			
			増設	1,660	基	+27	基			
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74	本	0	本			
		多核種除去設備処理カラム	既設	15	塔	0	塔			
	モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		210	本	0	本				
	廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	597	m ³	0	m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。		
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,345	m ³	+23	m ³	9345 / 10300 (91%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場パトロール異常なし） ・水位計0%以上の保管量：9245 [m] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m]		



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.2.28 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。
※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2020.3.5時点)

